

ICTで授業をDX!

学年 小学校5年 教科 国語 など

文章は みんなで読めば こわくない

使用するアプリケーション等

- ・ Google jamboard
- ・ ミライシード

単元・題材 あなたはどう考える

本時の目標 文章に対する感想や意見を伝え合い、文章の良いところを見つけることができる（思考力、判断力、表現力等）

ICTを活用することで できること

- ・ 教科書の例題をもとに、自分の考える意見をGoogle Jamboardに送り、多くの児童の意見を瞬時に確認することができる。
→意見を書きやすい内容（客観的に情報が収集できるかどうか）をみんなで分類することで内容を精査できる。
- ・ 考えた意見を簡潔にミライシード「オクリンク」に送信し、公開することで児童が多様な意見に触れることができる。
- ・ 文章をオクリンク上に提出させることで、苦手な児童の支援をしながら、空いた時間に確認することができる。
- ・ 完成した文章を随時オクリンク上で「名前非公開」で送信してもらうことで、説得力のある文章は何なのかを理解できるようになるとともに、自分の文章によいところを取り込み、推敲して自分の文章の質を高められる。
- ・ 送信した文章をもとに互いにアドバイスをし合うことができる。

DX前（ICTを使っていなかった頃は・・・）

1 導入

- ①自分が書いた文章の内容を確認する。
- ②班などの話し合いの形を作る

2 展開

- ① めあてを知る

説得力のある意見文とはどんな文章なのかを話し合おう

- ②順番に班の人の意見文を読み合う
- ③文章の良かったところを伝え合う
- ④順番に全員行う
- ⑤説得力のある意見とは何かを班で話し合う

3 まとめ

- ①各班ごとに出た意見を順番に発表する
- ②まとめる

説得力のある意見文とは、根拠がはっきりした文章のこと

- ③振り返りを行う

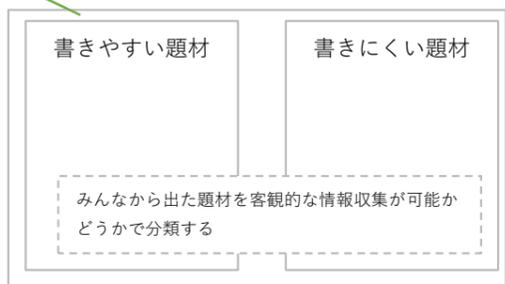
DX!

DX後（赤字はICT活用場面）

モニター

1 導入

- ① 前時までにGoogle Jamboardで客観的に書くことができる意見文の題材について考えておく。
 - どのような題材を使い、どのような文を書こうとしているのかを一言でミライシードに送信する



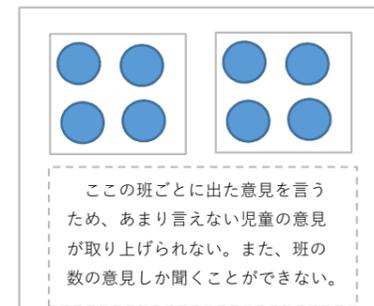
2 展開

- ① めあてを知る

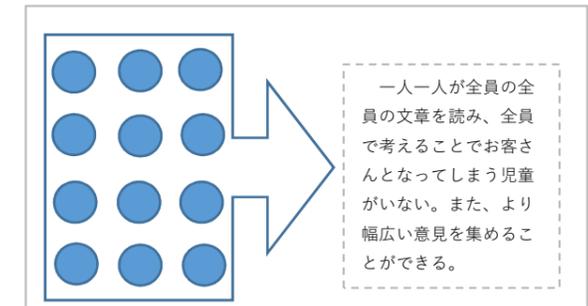
説得力のある意見文とはどんな文章なのかを話し合おう

- ② みんなの意見文を読む（端末に入力のため、字の得意不得意を気にしなくてよい）
 - 全員に書いた意見文を（無記名・無作為の番号で）オクリンクで送信させる。
 - 説得力のある意見文は何番の意見文なのかを理由とともにオクリンクの別の提出boxに送信させる。
 - 意見文には必ず、1つ図やグラフを入れる

- ③ みんなで説得力のある文章の共通点を探す。



班の意見をまとめるだけで終わってしまいがち



クラスのみんなの意見を聞き、みんなで説得力のある文章について考えることができる

3 まとめ

- ① 自分が考え、まとめた文章をオクリンクに送信する。その際、共通点を活用できるように説得力のある意見を分類しておく。
- ② 振り返りを行う。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・ 限られた意見しか聞くことができなかったが、幅広く意見を聞くことができるようになった。
- ・ 今回はなかったが、端末を忘れてしまう児童がいた場合、通常の文房具とは異なり貸すことが難しいのが難点。
- ・ 友達の考えを瞬時に読むことができるため、考えに自信をもてなかった児童が、他者の意見と自分の意見を比べて書くことができた。
- ・ 課題の送信機能を使うことで、支援が必要な児童に対応しながらすき間に対応することができた。